

### 【2018年6月2日～2018年6月8日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに上昇しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

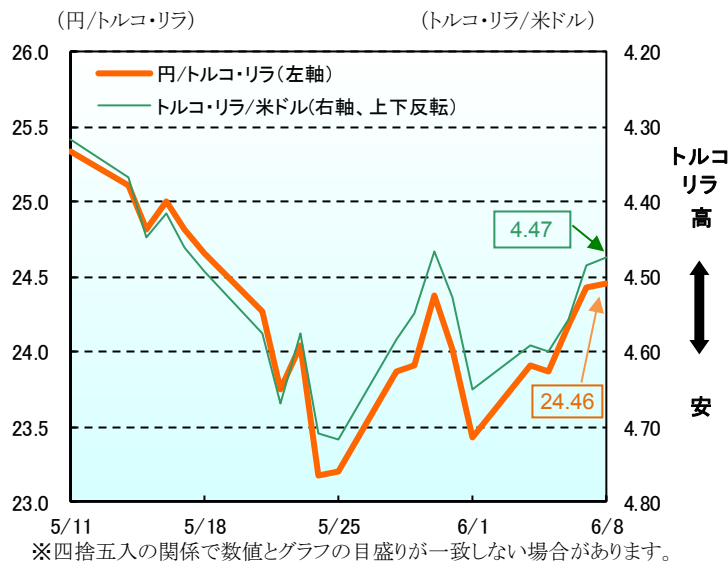
市場では前週の中央銀行による金融政策の枠組み簡素化および政策金利引き上げを受け、落ち着いた動きで始まりました。市場の注目が欧州の政治情勢やブラジルなど他の新興国に移ったこともあり、トルコ・リラはじりじり上昇しました。中央銀行は7日（現地、以下同様）の金融政策委員会で、政策金利を16.50%から17.75%へ、再度大幅利上げを行いました。予想を上回る利上げ幅を受けて国債金利が上昇するとともに、市場はインフレ対策および通貨安定化に対する断固たる措置と受け止め、週末にかけてトルコ・リラはいっそう上昇しました。

#### 【2】今週の見通し

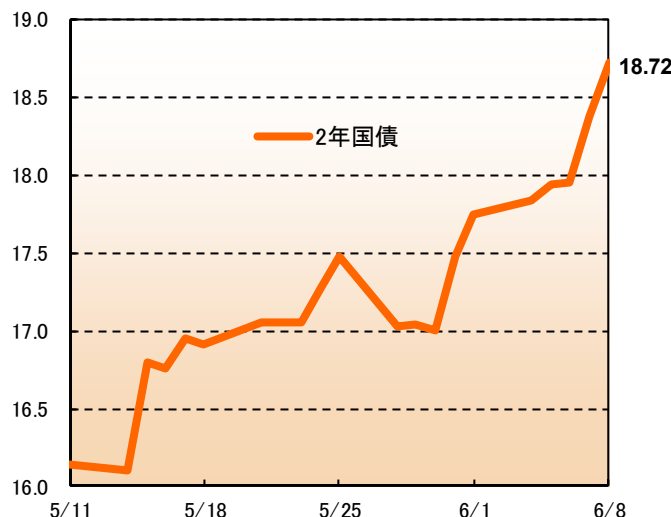
今週は、4月の経常収支と鉱工業生産、1-3月期のGDP（国内総生産）が発表される予定です。市場の注目は12日の米朝首脳会談および13日までのFOMC（米国連邦公開市場委員会）に集まっています。

トルコ国内では、24日の大統領選挙と議会選挙が注目されます。足元の世論調査ではエルドアン大統領および与党連合の優勢が伝えられてはいるものの、依然として不透明な状況です。引き続きエルドアン大統領の言動や各候補・政党支持率の推移に注意が必要であると考えます。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年5月11日～2018年6月8日）



【トルコ 金利推移】（2018年5月11日～2018年6月8日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>